

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

スリランカと日本は長く友好関係を保ってきている。スリランカ在留の日本人は 880 人(2004 年 10 月)、日本在留のスリランカ人は 8,764 人(2004 年 12 月)である。

スリランカ人は、スリランカ(当時セイロンと称す)が、第二次世界大戦後の日本の復興のきっかけとなったサンフランシスコ講和会議において戦後賠償の放棄を宣言した事実を今でも皆よく知っている。彼らは、このことを日本人も皆覚えていると信じており、日本が、現在、諸外国の対スリランカ経済協力実績において第一位を占めているのは、60 年前に行った賠償放棄に対する返礼であるとさえ思っている。スリランカの大学入学統一テストにあたる A レベル試験には、この 2, 3 年、600 名から 700 名の生徒が日本語で受験しており、高校入試に当たる O レベル試験にも日本語が受験可能科目として導入されている。スリランカは人口が約 2070 万(2006 年)で国土も北海道の 80%しかなく、日本からは遠く離れた小さな島国であるが、親日家が多く、日本に対して強い憧れと尊敬の念を持っている。こうした点を考慮すると、スリランカは、反日感情の強い近隣のアジア諸国と比べてみると、日本人にとって「すばらしい島国」であり、また、気候も温暖で、そこには日本人高齢者にとって滞在しやすい生活環境がある。スリランカ人口の 77%を占めるシンハラ人の言葉、シンハラ語では島をランカという。まさに、スリランカという国は、すばらしいランカである。一方、シンハラ語でも、すばらしい、さらには縁起の良い、幸せなという意味を subha(スバ、すば)という単語で表す。

私たちは、ここに、有志を募り、スリランカ人の日本に対する熱い思いに応え、日本とスリランカの架け橋になるために、特定非営利活動法人スバ・ランカ協会を設立する。その目的は、スリランカ人と日本人の相互理解を促し、スリランカ人の抱える問題を改善・解決し、日本人ボランティアの活動を支援し、スリランカ・日本両国民の幸せな生活の実現に寄与することにある。この事業を進めるためには、より高度な社会的信用が必要であり、法人格を持つ NPO 組織が不可欠であると判断した。

2 申請に至るまでの経過

2004 年 12 月 26 日のスリランカでの津波災害に際して、多くの友人・知人から援助金をもらい、主に、被災地のトイレの再建に努めた。その一方で、「れんげ国際ボランティア会」(熊本県玉名市)による両親をなくした子供たちへの奨学金の支給や仮設住宅の自営業者に対する貸付を手助けしてきた。そうした支援の体験そしてスリランカでの長期滞在の経験から、スリランカ人がさまざまな問題を抱えていることが理解できたし、日本への期待がかなり大きなものであることを知った。一方、日本では団塊の世代が定年を迎える時期にきており、老後の生きがいを模索する人々が社会にあふれる状況になる。こうした高齢者にスリランカを紹介し、ボランティア活動をしてもらえたらどうかとも考えた。これらの点を考慮し、スリランカ・日本に関するよろず相談を行い、スリランカ人と日本人の幸せな生活を実現するため、当協会の設立を申請することにしたのである。

「名称」 特定非営利活動法人スバ・ランカ協会

平成 19 年 5 月 14 日設立 法人登記番号：1811-05-001085

「主たる事務所」 愛知県春日井市石尾台 4 丁目 2 番地 20 大岩碩（オオイワ マサル）方

「目的」 スリランカと日本両国の相互理解を促し、スリランカ人の抱える問題の改善と解決、日本人ボランティアの活動の支援と推進を図り、スリランカ・日本両国民の幸せな生活の実現に寄与することを目的とする。

「活動」 上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 国際協力の活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動
- (4) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

「事業」 上記の目的を達成するために、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

- ① スリランカよろず相談窓口事業
- ② スリランカの公共トイレ・井戸再建事業
- ③ スリランカ人を対象とした教育振興、人材育成及び雇用促進事業
- ④ 日本語・日本文化普及、教育、技術指導等に係るボランティア支援・推進事業
- ⑤ スリランカの物産の紹介と普及事業

「役員」 会長 大岩碩 副会長 佐々木恭一

理事 クララットナ・ジャガット・シリ

理事 鈴木方子 理事 鈴木正隆

理事 廣間えり子 理事 山本郁郎

理事 吉村清明 監事 橋重孝

「連絡先」 subalanka@tea.odn.ne.jp FAX 0568-92-0955（電話兼用）大岩 碩
